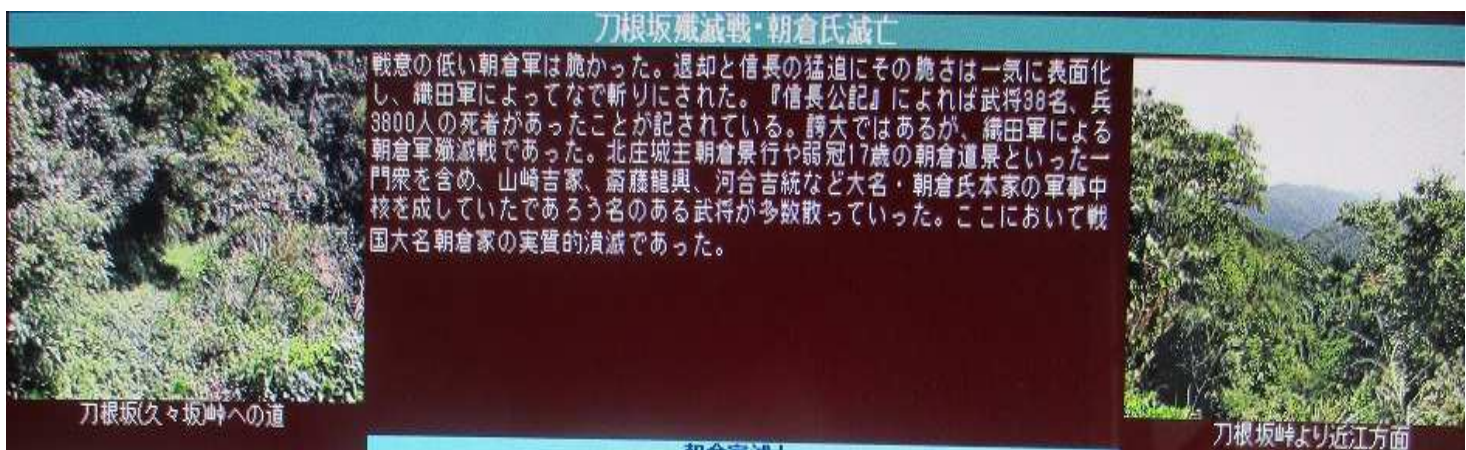


豊富な自然林の緑陰ウォークを楽しみました。この辺りは、信長の金ヶ崎の退き口の舞台になった所であり、賤ヶ岳の戦いの舞台になったところです。古道：刀根越えや玄蕃尾城の遺構など歴史ロマンを楽しみました。自然観察では、ツチアケビに出会い感動、「何年ぶりでしょうね・・・」などワイワイガヤガヤと談笑。また、ナツエビネの株があちこちにあり、蕾があがっていてうれしかったです。「花が咲いていたら良かったね」「こんなに多くの株があるなんて、新しい発見ね」・・・など盛り上がりました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。(3ページ)

◆歴史①久々坂峠(くくさかとうげ)・刀根越え



朝倉家滅亡

義景は一旦正壇城に入城するも信長軍の攻勢の前に逃走して一乗谷を目指す。付き添ったのは鳥居景近や高橋景業ら10人程度の側近だった。8月15日一乗谷に帰還。8月16日、義景は朝倉景鏡の勧めによって一乗谷を放棄し、大野郡東雲寺に逃れた。8月17日には平泉寺に援軍を要請するも、すでに信長の調略を受けていた平泉寺は東雲寺を逆に襲う始末であり、義景は8月19日、大野賢松寺に逃れた。しかし、8月20日早朝、その景鏡が信長と通じて裏切り、賢松寺を襲撃する。ここに至って義景は遂に壮烈な自害を遂げた。享年41。ここに初代朝倉景景から100年北陸の真、戦国大名朝倉家の滅亡となった。



敦賀・正壇城跡



散在していた供養塔、野仏

史跡 正壇城跡
 正壇城跡は、敦賀市（戦国時代）に位置する。この城跡は、朝倉家の初代朝倉景景が築いたとされている。城跡の中心には、朝倉景景の墓がある。また、城跡の周囲には、朝倉家の歴史に関する石碑や説明板が設置されている。城跡の周囲には、朝倉家の歴史に関する石碑や説明板が設置されている。



朝倉義景墓（福井県大野市）

◆歴史②玄蕃尾城

玄蕃尾城は、織田信長の家臣で後に、賤ヶ岳の合戦（天正11年（1583年））で豊臣秀吉に敗れた柴田勝家（の本陣）が築いた城。柳瀬山の北西、滋賀県と福井県の県境にそびえる柳瀬山（439m）山頂にある。石垣などはなく、空堀を巡らし、土塁が築かれている。南北300m、東西150mに及ぶ広大な天然の要塞を利用して造られた砦。柳瀬山は、余呉町では中尾山と言い、かつて北中尾、内中尾、南中尾の三峰に分かれていましたが、南中尾山は、明治天王の行幸の際に切り崩され、低くなっている。平成11年（1999）7月13日に「玄蕃尾城（内中尾山城）跡」として国の史跡に選定。また、2017年（平成29年）4月6日「続日本100名城」に選定されている。

◆トレッキングの様子



◆自然観察



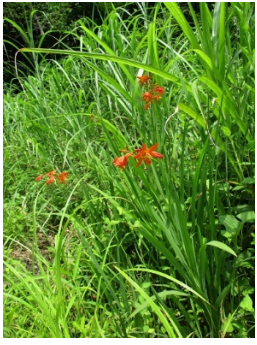
ゲンノショウコ

オトギリソウ

ノイチゴ

ヤブカンゾウ

キンミズヒキ



ヒメヒオウギズイセン



ナツエビネ



ツチアケビ